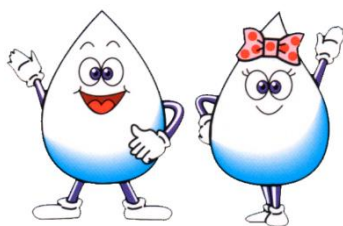


平成30年度当初予算（予第2号）案について

～予算説明資料～



平成30年2月

阪神水道企業団

= 目 次 =

I. 予算編成の背景と収支見通し

II. 予算編成の基本方針及び主要施策

III. 予算の大要

IV. 予算の明細

V. 建設改良費説明書

I. 予算編成の背景と収支見通し

<予算編成の背景>

我が国では、人口減少社会が到来する一方、高度経済成長期に整備拡張してきた社会インフラの大量更新時代を迎え、必要な公共サービスを持続していくための効率的運用が課題となっている。

水道事業においても、水需要の減少による収入減、保有資産の老朽化及び人材不足などの課題を各事業体が抱える中、将来にわたって安定的に水を供給していくため、国においても、水道法の改正をはじめとした取組が行われているところである。

阪神水道企業団では、取り巻く環境の変化や新たな課題に対応していくべく、平成 29 年度中に、水道用水供給ビジョン 2017 を成案化する。

「安全な水の安定供給の持続」という基本理念のもと、平成 30 年度は、新ビジョンを踏まえ、経営改善や効率的な財政運営に努めて経営基盤を強化していくとともに、耐震性の向上、老朽劣化対策、施設整備の推進など諸施策を確実に進めていかなければならない。

また、平成 30 年度は宝塚市への供給を拡大するが、厳しい経営環境の中で、阪神地域の水道のより良い姿を追求していくため、構成市水道事業と一層の連携強化を図るとともに、近隣水道事業者等との広域連携や民間事業者との連携等についても、検討を進めていく必要がある。

<平成 29 年度の収支見通し>

平成 29 年度における損益収支は、燃料費調整単価の減額に伴う動力費の減等により、約 12.6 億円の純利益（財政計画：約 5.3 億円の純利益）を計上し、同年度末の累積欠損金は約 128.9 億円（財政計画：約 157.7 億円）となる見込みである。

一方、同年度中における資金不足額は、建設改良費等により約 11.9 億円（財政計画：約 5.8 億円の資金不足）、また、同年度末の資金残額は、約 53.8 億円（財政計画：約 26.1 億円）となる見込みである。

<今後の財政見通し>

企業団の損益収支は、割賦負担金等の繰上償還による債務の圧縮に伴う支払利息の削減等のコスト削減策や、保有地の有効活用等による収益確保策の実施により、単年度純利益を計上出来るようになり、財政状況は徐々に改善へ向いつつあるが、多額の累積欠損金の解消には、なお相当の期間を要する見通しである。

そのような中、老朽管路や経年化施設の更新等、安定給水に必要な事業については、着実に実施していかなければならない。

引き続き、経営改善策を推進し、構成市の受水費負担の軽減を図りつつ、財政状況の健全化に向けて取り組んでいく必要がある。

Ⅱ. 予算編成の基本方針及び主要施策

「安全な水の安定供給の持続」という基本理念の下、水道用水供給ビジョン2017(案)*を踏まえ、災害等リスクの増大や水需要の動向等、取り巻く環境の変化への対応に留意しつつ、財政計画3年目として、「宝塚市への供給拡大（1日最大給水量10,000 m³/日→27,350 m³/日）」「経営改善の実施」、「効率的な財政運営」「耐震性の向上」等、掲げた施策を確実に実施していくための予算を編成した。

水道用水供給ビジョン2017(案)に掲げた目標「水源や施設の適切な管理」、「災害時の対応能力強化」、「将来の供給を継続するための経営基盤強化」等における主要な推進施策は以下のとおりである。

※「水道用水供給ビジョン2017」は平成29年度中に成案化予定。

1. 水源や施設の適切な管理

淀川水質協議会等を通じて水源監視や水源水質保全活動を推進するとともに、阪神水道品質保証プログラムの運用により供給水の安全性を確保する。

また、効果的な施設の運転管理及び効率的な水運用を行うとともに、ライフサイクルコストの抑制を念頭に、新技術の導入や適切な施設の維持管理に努め、主要設備機器や施設の修繕及び更新基準を見直すなど、アセットマネジメントを推進し、更なる効率化に取り組む。

(主要施策) 金額は税込額。

①適切な施設の維持管理 [655,733千円]

- ・淀川取水場導水ポンプ3号・4号取替
- ・猪名川浄水場Ⅲ系オゾン設備取替
- ・水質試験所改修
- ・センター設備取替
- ・配電設備改修

②更新計画の策定 [26,522千円]

- ・建築施設維持修繕計画作成
- ・計装設備機能診断

2. 災害時の対応能力強化

構造物や老朽管路の更新を継続実施して耐震化を図るとともに、施設の更新に合わせて災害リスク対策及び機能・維持管理性の向上を図り、安定供給の確保に努める。

また、事業継続マネジメントへ向けた取組を行い、さらに実効性のあるマニュアル類の整備、災害時における構成市との連携強化等により、危機管理対応能力の向上を図る。

(主要施策) 金額は税込額。

①施設の耐震化 [422,572千円]

- ・淀川取水場、淀川取水場管理棟及び西宮ポンプ場改修

②管路の耐震化 [649,080千円]

- ・2期淀川導水管、配水管更新

③複合リスクを想定したリスク対策

- ・猪名川浄水場送水ポンプ8号取替（ハイブリットポンプ） [356,400千円]

3. 将来の供給を継続するための経営基盤強化

実績給水量や将来の水需要の動向を踏まえた経営規模の適正化に努めるとともに、財政計画（平成 28 年度～平成 31 年度）で掲げた職員数削減等の経営改善策に基づき、収益の確保並びに支出の抑制に取り組み、財務体質の強化を図る。

また、的確な執行体制を構築するとともに、経営資源の有効活用等について検討を進める。

（主要施策）〔 〕は効果額。金額は税抜額。

○経営改善策の実施

①現行財政計画に掲げた（分賦金負担軽減分）経営改善策

- ・職員数の削減 [△37,800 千円]
- ・設備機器の点検、整備方法の見直し [△7,200 千円]
- ・管理施設（住吉配水池）の機能停止等 [△121,500 千円]
- ・日吉ダム建設事業割賦負担金の一部繰上償還 [△21,900 千円]

②平成 30 年度における新たな経営改善策

- ・企業債借入残高を上回る大口定期預金による運用 [+2,970 千円]

③現行財政計画以前より継続して実施している経営改善効果額

[計△278,300 千円]

4. 阪神地域の水道のより良い姿の追求

阪神地域の水道のより良い姿を追求すべく、企業団が主体的・先導的役割を担い、対応策や改善策等について検討を進め、構成市水道部局や近隣水道事業体等との情報共有・連携強化を図る。

また、ダウンサイジング施設の有効活用策としての他事業との連携や、公民連携についても推進する。

さらに、省エネルギー化等により環境負荷の抑制を推進するとともに、地域のより良い水道事業運営につなげていくため、「情報の見える化」に努め、国内外における情報収集、発信を積極的に進める。

（主要施策）

- ①「阪神地域の水供給の最適化研究会」の継続実施
- ②工業用水道事業との連携に関する検討
- ③水道技術の国際貢献の推進

Ⅲ. 予算の概要

1 業務の予定量

(単位 m³)

給水市名	1日平均給水量	年間総給水量
神戸市	446,867	163,106,455
尼崎市	162,767	59,409,955
西宮市	131,953	48,162,845
芦屋市	28,870	10,537,550
宝塚市	19,145	6,987,925
計	789,602	288,204,730

2 収益的収支の予定額

(単位 千円、税込み)

科目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
水道事業収益	20,633,851	21,082,413	△ 448,562
営業収益	19,193,571	19,193,440	131
営業外収益	1,355,616	1,414,865	△ 59,249
特別利益	84,664	474,108	△ 389,444
水道事業費用	18,726,268	20,002,111	△ 1,275,843
営業費用	16,803,522	17,218,647	△ 415,125
営業外費用	1,917,742	2,023,567	△ 105,825
特別損失	4	754,897	△ 754,893
予備費	5,000	5,000	0

3 資本的収支の予定額

(単位 千円、税込み)

科 目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
資 本 的 収 入	1,213,428	1,506,399	△ 292,971
企 業 債	929,000	462,000	467,000
出 資 金	284,424	1,044,395	△ 759,971
国 庫 補 助 金	1	1	0
固 定 資 産 売 却 代 金	1	1	0
工 事 負 担 金	1	1	0
そ の 他 資 本 収 入	1	1	0
資 本 的 支 出	8,308,639	9,927,005	△ 1,618,366
建 設 改 良 費	2,767,272	2,453,021	314,251
企 業 債 償 還 金	5,129,280	5,431,343	△ 302,063
水 利 負 担 金	412,026	1,354,274	△ 942,248
国 庫 補 助 金 返 還 金	61	348	△ 287
出 資 金 返 還 金	0	688,019	△ 688,019

4 損益・資金収支の予定額

○当年度予定純利益	1,665,544 千円
○当年度末予定累積損益	△11,221,171 千円
○当年度予定資金過不足額	1,909,704 千円
○当年度末予定資金残額	7,293,947 千円

5 新規債務負担行為

(単位 千円、税込み)

事 項	期 間	限 度 額
淀川取水場管理棟築造工事	平成30年度から 平成32年度まで	234,440
猪名川浄水場Ⅲ系オゾン設備 取 替 工 事	平成30年度から 平成33年度まで	2,371,962
尼崎浄水場計算法制御装置 取 替 工 事	平成30年度から 平成31年度まで	474,443
センター設備取替工事	平成30年度から 平成33年度まで	517,678
配水管更新工事	平成30年度から 平成34年度まで	1,658,000

IV. 予算の明細

○収益的収入及び支出（税込み）

（単位 千円）

収支区分	年度	H30				
		財政計画 ①	前年度予算額 ②	予算案 ③	予算案－財計 ③－①	予算案－ 前年度予算 ③－②
水道事業収益		20,892,326	21,082,413	20,633,851	△ 258,475	△ 448,562
営業収益		19,541,373	19,193,440	19,193,571	△ 347,802	131
分賦金		19,532,873	19,177,707	19,177,730	△ 355,143	23
受託工事収益		0	7,305	7,413	7,413	108
その他営業収益		8,500	8,428	8,428	△ 72	0
営業外収益		1,350,952	1,414,865	1,355,616	4,664	△ 59,249
受取利息		807	804	3,457	2,650	2,653
補助金		43,792	46,178	31,999	△ 11,793	△ 14,179
長期前受金戻入		1,162,781	1,222,692	1,174,703	11,922	△ 47,989
雑収益		143,572	145,191	145,457	1,885	266
特別利益		1	474,108	84,664	84,663	△ 389,444
水道事業費用		19,450,461	20,002,111	18,726,268	△ 724,193	△ 1,275,843
営業費用		17,402,878	17,218,647	16,803,522	△ 599,356	△ 415,125
職員給与費		2,162,508	2,162,583	2,108,045	△ 54,463	△ 54,538
浄化費		734,554	832,253	651,959	△ 82,595	△ 180,294
動力費		3,302,049	3,079,662	2,898,257	△ 403,792	△ 181,405
施設管理費		1,553,310	1,572,026	1,524,142	△ 29,168	△ 47,884
受託工事費		0	7,305	7,413	7,413	108
物件費		106,970	105,041	118,640	11,670	13,599
諸費		747,374	753,733	769,864	22,490	16,131
水源管理負担金		479,778	439,793	436,939	△ 42,839	△ 2,854
減価償却費		8,262,808	8,019,749	8,204,990	△ 57,818	185,241
資産減耗費		53,527	246,502	83,273	29,746	△ 163,229
営業外費用		2,042,579	2,023,567	1,917,742	△ 124,837	△ 105,825
企業債利息		1,144,510	1,238,653	1,113,286	△ 31,224	△ 125,367
割賦負担金利息		82,454	83,194	49,556	△ 32,898	△ 33,638
借入金利息		1	1	1	0	0
消費税及び地方消費税		810,199	695,296	751,393	△ 58,806	56,097
雑支出		5,415	6,423	3,506	△ 1,909	△ 2,917
特別損失		4	754,897	4	0	△ 754,893
予備費		5,000	5,000	5,000	0	0
収支差引額		1,441,865	1,080,302	1,907,583	465,718	827,281

○資本的収入及び支出（税込み）

（単位 千円）

年度 收支区分	H30				
	財政計画 ①	前年度予算額 ②	予算案 ③	予算案－財計 ③－①	予算案－ 前年度予算 ③－②
資本的収入	1,350,428	1,506,399	1,213,428	△ 137,000	△ 292,971
企業債	1,066,000	462,000	929,000	△ 137,000	467,000
出資金	284,424	1,044,395	284,424	0	△ 759,971
国庫補助金	1	1	1	0	0
固定資産売却代金	1	1	1	0	0
工事負担金	1	1	1	0	0
その他資本収入	1	1	1	0	0
資本的支出	9,415,962	9,927,005	8,308,639	△ 1,107,323	△ 1,618,366
建設改良費	3,670,752	2,453,021	2,767,272	△ 903,480	314,251
企業債償還金	5,129,280	5,431,343	5,129,280	0	△ 302,063
水利負担金	615,929	1,354,274	412,026	△ 203,903	△ 942,248
国庫補助金返還金	1	348	61	60	△ 287
出資金返還金	0	688,019	0	0	△ 688,019
資本的収支不足額(△)	△ 8,065,534	△ 8,420,606	△ 7,095,211	970,323	1,325,395
補てん財源	11,280,593	12,988,292	14,389,158	3,108,565	1,400,866
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	348,488	233,380	208,457	△ 140,031	△ 24,923
当年度純利益	1,023,061	816,312	1,665,544	642,483	849,232
損益勘定留保資金等	9,909,044	11,938,600	12,515,157	2,606,113	576,557
前年度末資金残額	2,607,234	6,571,907	5,384,243	2,777,009	△ 1,187,664
当年度資金過不足(△)額	607,825	△ 269,412	1,909,704	1,301,879	2,179,116
当年度末資金残額	3,215,059	6,302,495	7,293,947	4,078,888	991,452

【参考】収益的收入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

年度 収支区分	H30				
	財政計画 ①	前年度予算額 ②	予算案 ③	予算案－財計 ③－①	予算案－ 前年度予算 ③－②
水道事業収益	19,112,955	19,657,943	19,209,323	96,368	△ 448,620
営業収益	17,764,886	17,771,739	17,771,859	6,973	120
分賦金	17,757,158	17,757,137	17,757,157	△ 1	20
受託工事収益	0	6,798	6,898	6,898	100
その他営業収益	7,728	7,804	7,804	76	0
営業外収益	1,348,068	1,412,096	1,352,800	4,732	△ 59,296
受取利息	807	804	3,457	2,650	2,653
補助金	43,792	46,178	31,999	△ 11,793	△ 14,179
長期前受金戻入	1,162,781	1,222,692	1,174,703	11,922	△ 47,989
雑収益	140,688	142,422	142,641	1,953	219
特別利益	1	474,108	84,664	84,663	△ 389,444
水道事業費用	18,089,894	18,841,631	17,543,779	△ 546,115	△ 1,297,852
営業費用	16,850,041	16,753,080	16,369,901	△ 480,140	△ 383,179
職員給与費	2,158,925	2,159,615	2,105,208	△ 53,717	△ 54,407
浄化費	732,764	798,722	634,490	△ 98,274	△ 164,232
動力費	3,002,004	2,851,654	2,683,677	△ 318,327	△ 167,977
施設管理費	1,412,105	1,455,548	1,411,211	△ 894	△ 44,337
受託工事費	0	6,798	6,898	6,898	100
物件費	98,151	97,929	111,506	13,355	13,577
諸費	693,593	709,351	724,078	30,485	14,727
水源管理負担金	436,164	407,212	404,570	△ 31,594	△ 2,642
減価償却費	8,262,808	8,019,749	8,204,990	△ 57,818	185,241
資産減耗費	53,527	246,502	83,273	29,746	△ 163,229
営業外費用	1,234,849	1,330,755	1,168,874	△ 65,975	△ 161,881
企業債利息	1,144,510	1,238,653	1,113,286	△ 31,224	△ 125,367
割賦負担金利息	82,454	83,194	49,556	△ 32,898	△ 33,638
借入金利息	1	1	1	0	0
雑支出	7,884	8,907	6,031	△ 1,853	△ 2,876
特別損失	4	752,796	4	0	△ 752,792
予備費	5,000	5,000	5,000	0	0
収支差引額	1,023,061	816,312	1,665,544	642,483	849,232
前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金（△）	△ 15,768,574	△ 14,757,976	△ 12,886,715	2,881,859	1,871,261
当年度純利益 又は純損失（△）	1,023,061	816,312	1,665,544	642,483	849,232
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金（△）	△ 14,745,513	△ 13,941,664	△ 11,221,171	3,524,342	2,720,493

V. 建設改良費説明書

(1) 建設改良費

(単位 千円)

科 目	金 額	施 工 区 分
原 水 施 設 費	1,286,460	
設 備 改 良 費	1,277,608	原水施設整備事業 430,564 淀川取水場改修 淀川取水場管理棟改修 (設計業務委託) 配電設備改修 管路整備事業 427,680 2期淀川導水管更新 淀川取水場設備改良 419,364 淀川取水場導水ポンプ3号・4号取替
		固定資産購入費 8,852 作業用器具 8,852
浄 水 施 設 費	170,615	
設 備 改 良 費	156,181	猪名川浄水場設備改良 97,860 猪名川浄水場Ⅲ系オゾン設備取替 猪名川浄水場ⅠⅡ系受水流量計取替 猪名川浄水場場内水位計取替 猪名川浄水場分析計取替 尼崎浄水場設備改良 25,262 尼崎浄水場計算機制御装置取替 (設計業務委託) 尼崎浄水場分析計取替 水質試験所設備改良 33,059 水質試験所改修 (設計業務委託)
		固定資産購入費 14,434 事務用器具 297 作業用器具 8,235 水質試験用器具 5,902

配水施設費	1,072,690	
設備改良費	1,067,284	配水施設整備事業 299,322 西宮ポンプ場改修その2（設計業務委託） 越木岩受水池断水対策 センター設備取替 配電設備改修 3期芦部谷送水トンネル更新工事に係る基本検討 業務委託
		管路整備事業 221,400 配水管更新
		猪名川浄水場設備改良 356,400 猪名川浄水場送水ポンプ8号取替
		送水センター設備改良 73,613 甲東ポンプ場分析計取替 甲東ポンプ場分析計設置 甲東ポンプ場インバータ盤取替 西宮ポンプ場受配電設備取替（設計業務委託）
		計測設備改良 116,549 配水流量計取替その2
固定資産購入費	5,406	作業用器具 4,623 水質試験用器具 783
営業施設費	28,533	
設備改良費	21,203	通信設備改良 10,152 有線テレメータ設備取替
		建物改良 11,051 本庁舎エレベータ設置（設計業務委託）
固定資産購入費	7,330	事務用器具 7,330
事務費	208,974	
合計	2,767,272	

VI. 予定貸借対照表

		(平成31年3月31日)		
		資	産	の
				部
				(単位 千円)
1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
イ	土地		7,939,670	
ロ	建物	18,068,761		
	減価償却累計額	<u>△ 8,956,327</u>	9,112,434	
ハ	構築物	170,993,793		
	減価償却累計額	<u>△ 76,661,213</u>	94,332,580	
ニ	機械及び装置	88,587,975		
	減価償却累計額	<u>△ 75,900,925</u>	12,687,050	
ホ	車両運搬具	45,967		
	減価償却累計額	<u>△ 34,099</u>	11,868	
ヘ	器具備品	998,993		
	減価償却累計額	<u>△ 729,844</u>	269,149	
ト	建設仮勘定		<u>5,109,053</u>	
	有形固定資産合計			129,461,804
(2)	無形固定資産			
イ	水利権		20,467,187	
ロ	施設利用権		17,002	
ハ	電話加入権		1,082	
ニ	ソフトウェア		<u>793</u>	
	無形固定資産合計			20,486,064
(3)	投資その他の資産			
イ	出資金		<u>69,856</u>	
	投資その他の資産合計			<u>69,856</u>
	固定資産合計			150,017,724
2	流動資産			
(1)	現金預金		7,469,632	
(2)	貯蔵品		<u>103,552</u>	
	流動資産合計			<u>7,573,184</u>
	資産合計			<u>157,590,908</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に	<u>42,641,408</u>	
企業債合計		42,641,408

(2) 引当金

イ 退職給付引当金	<u>2,860,300</u>	
引当金合計		<u>2,860,300</u>
固定負債合計		45,501,708

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に	<u>4,853,024</u>	
企業債合計		4,853,024

(2) 引当金

イ 賞与引当金	147,279	
ロ 法定福利費引当金	<u>28,405</u>	
引当金合計		<u>175,684</u>
流動負債合計		5,028,708

5 繰延収益

(1) 長期前受金	58,640,212	
収益化累計額	<u>△ 33,258,630</u>	
繰延収益合計		<u>25,381,582</u>
負債合計		<u>75,911,998</u>

資本の部

6 資本金		90,416,841
-------	--	------------

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 補助金	2,033,213	
ロ 受贈財産評価額	43	
ハ 工事負担金	218,497	
ニ その他資本剰余金	<u>231,487</u>	
資本剰余金合計		2,483,240

(2) 利益剰余金

イ 当年度未処理欠損金	<u>△ 11,221,171</u>	
利益剰余金合計		<u>△ 11,221,171</u>
剰余金合計		<u>△ 8,737,931</u>
資本合計		<u>81,678,910</u>
負債資本合計		<u>157,590,908</u>